

拠出金名：地球環境ファシリティ／国連開発計画／東アジア海域環境管理パートナーシップ／PRF運営費

国際機関等名	地球環境ファシリティ／国連開発計画／東アジア海域環境管理パートナーシップ／ペムシーリソースファシリティ Global Environment Facility/ United Nations Development Programme/ (英文名称・略称) Partnerships in Environmental Management for the Seas of East Asia/ PEMSEA Resource Facility (GEF/UNDP/PEMSEA/PRF)					
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他		
所轄官庁担当局課名	国土交通省総合政策局海洋政策課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注1)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外 貨1 (千ドル)	外 貨2	レ ー ト		
平成18年度	14,000			円建て	(2007年) 35.1%	0
平成17年度	-				(2006年) -	-
平成16年度	-				(2005年) -	-
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財政 (2006年度決算)(注2)		
	国 名	金額(千ドル)	率(%)	当該年度の収入 N/A		
1位	日本	125	35.1	当該年度の支出 N/A		
1位	中国	125	35.1	次年度への繰越 N/A		
3位	韓国	106	29.8	会計検査機関名		
4位				Office of the Comptroller and Auditor General of India		
5位				(現在の構成員の出身国: )		
上記の率及び順位は2007年のもの						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
<p>環境分野での国際的な取組みに関する行動計画である「アジェンダ21」では、沿岸域及び海洋環境の総合管理と持続可能な開発は沿岸国の義務であるとされている。</p> <p>PEMSEAは、海洋・沿岸域の総合的管理を通じて、持続可能な開発を東、東南アジア海域において推進することに貢献しており、我が国としてもその活動を高く評価している。</p>						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。						
<p>海洋環境保全に関するGEFプロジェクト等のプロジェクトを実施する2006年までの枠組みから、2007年以降、東、東南アジア海域において持続可能な開発を推進するための幅広いプロジェクトを実施する地域協力の枠組みへ移行。新たな枠組みにおける活動を実施するため、PEMSEAを運営する事務局が刷新されることとなり、現在のPEMSEA Resource Facilityが立ち上げられた。</p>						
邦人職員数 うち幹部以上	1人 0人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		4人 25%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
なし						
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
当該機関の東アジア海域環境管理プログラム担当官ポストに邦人を送り込んでいる。将来においてもかかる状況を継続させたい。						

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2007年)。

(注2) PRFは2007年より運営されている事務局であり、本年より新たに拠出を行うものである。